

3. センターだより

1. 情報メディアセンターにおける委員会活動

愛知大学情報メディアセンターには情報メディアセンター委員会があり、そのもとに名古屋センター委員会および豊橋センター委員会が置かれ、3校舎（名古屋、豊橋、車道）の管理、運営が行われている。

2005年度前期に開催された、各委員会の議事は次の通りである。

名古屋情報メディアセンター委員会

2005年度

◇第1回 5月14日

1. 情報メディアセンター規程改正について
2. 2005年度 実習室ソフトウェアについて
3. メディアゾーンパソコンリプレイスについて
4. 情報メディアセンター内プリンター印刷枚数上限について
5. 図書館無線 LAN 工事および認証システム統合について

報告事項

1. 新委員の紹介について
2. 2005年度 情報メディアセンター委員時間割について
3. 2005年度 情報メディアセンター実習室利用状況
4. 名古屋校舎 センター運営・管理業務委託について
5. ネットワーク不正アクセスについて

名古屋情報メディアセンター運営会議

2005年度

◇第1回 6月30日

1. 運営委員推薦について
2. 各担当について
3. 学術情報データベース名古屋センター分について

報告事項

1. メディアゾーン PC リプレイスについて
2. 2005年度夏期センター開室日程について
3. 2005年度秋期相談員募集について

◇第2回 7月12日

1. 役割分担について
2. 留学生のメールアドレス取得に関する要望について
3. 学術情報データベース名古屋センター分について

◇第3回 8月2日

1. 情報メディアセンター利用規則改正について
2. 教員講習会について
3. 学生向けコンテストについて
4. 名古屋センター開発学術データベース開発について
5. メディア教育開発室運営について
6. 今後のセンター運営について

報告事項

1. 留学生のメールアドレス取得に関する要望について（回答）
2. 不正アクセスについて
3. Saturn 障害報告について
4. メディアゾーンの PC リプレイスについて

豊橋情報メディアセンター委員会

2005年度

◇第1回 5月12日

1. 情報メディアセンター規程改正について
2. 学生・教職員の印刷枚数上限について
3. 秋学期用ソフトウェア募集について
4. 新研究棟ネットワークについて
5. 7号館心理学専攻教室ネットワークについて
6. 図書館無線LAN設置および利用者認証統合について
7. その他

報告事項

1. 学生のパスワード有効期限変更について
2. 委員の出張について
3. メディア教育開発室機器整備について
4. 514教室 机・椅子設置について
5. その他

豊橋情報メディアセンター運営会議

2005年度

◇第1回 7月1日

1. 運営委員推薦について
2. 各担当について
COM 編集担当運営委員・講習会担当運営委員・公開講座等担当運営委員・実習室担当運営委員・ラボ担当運営委員・広報(Web、メールマガジン、掲示板など)担当委員
3. 秋学期教育用ソフトウェアについて
「地図太郎 GIS 入門」
4. その他

報告事項

1. 2005年度夏季 情報メディアセンター開室日程について

2. その他

- 1) 校舎間内線増設について
- 2) 英語 e-Learning 導入完了について
- 3) ネットワーク工事について(新研究棟、7号館心理学教室、梢風館、図書館)
- 4) オープンキャンパスについて

◇第2回 8月2日

1. 規程改正について
愛知大学情報メディアセンター利用規則の改正

第16条 内規

第17条 規則の改正

別表1 年度毎の印刷枚数

2. 役割分担について
3. その他

報告事項

1. 2005年度豊橋情報メディアセンター作業スケジュールについて
2. セキュリティインシデント報告について

2. 情報メディアセンター主催行事

2005年 春 講習会参加人数

◆名古屋校舎

開講日	講習会名	教室	参加人数
4月4日(月)	電子メール講習会	第2実習室	12人
4月7日(木)	電子メール講習会	第2実習室	15人
4月13日(水)	電子メール講習会	第2実習室	14人
4月14日(木)	Word入門講習会	第2実習室	7人
	Excel入門講習会		15人
4月20日(水)	PowerPoint講習会	第2実習室	14人
4月21日(木)	電子メール講習会	第2実習室	15人
	Excel入門講習会		15人
4月27日(水)	Excel入門講習会	第2実習室	15人
4月28日(木)	電子メール講習会	第2実習室	16人
5月11日(水)	電子メール講習会	第2実習室	13人
5月12日(木)	電子メール講習会	第2実習室	14人
	Word入門講習会		15人
	Word応用講習会		13人
5月18日(水)	電子メール講習会	第2実習室	10人
5月19日(木)	電子メール講習会	第2実習室	15人
	PowerPoint講習会		15人
	Excel入門講習会		15人
5月25日(水)	電子メール講習会	第2実習室	9人
5月26日(木)	Excel入門講習会	第2実習室	13人
	電子メール講習会		14人
	Excel入門講習会		6人
	Word入門講習会		2人
6月1日(水)	電子メール講習会	第2実習室	8人
6月2日(木)	Word入門講習会	第2実習室	5人
	Excel入門講習会		10人
6月8日(水)	Excel入門講習会	第2実習室	14人
6月9日(木)	電子メール講習会	第2実習室	14人
	Word入門講習会		3人
6月15日(水)	電子メール講習会	第2実習室	10人
6月16日(木)	PowerPoint講習会	第2実習室	7人
	Word応用講習会		3人
6月23日(木)	Word入門講習会	第2実習室	10人
	電子メール講習会		12人
6月30日(木)	Excel入門講習会	第2実習室	13人
7月6日(水)	Word入門講習会	第2実習室	9人
7月7日(木)	電子メール講習会	第2実習室	11人
	Excel入門講習会		2人
7月13日(水)	Excel入門講習会	第2実習室	10人
7月14日(木)	PowerPoint講習会	第2実習室	6人
	電子メール講習会		14人
7月20日(水)	電子メール講習会	第2実習室	2人
7月21日(木)	Excel入門講習会	第2実習室	1人
	電子メール講習会		15人
7月27日(水)	Word応用講習会	第2実習室	7人
7月28日(木)	Excel入門講習会	第2実習室	12人
	電子メール講習会		14人

◆豊橋校舎

開 講 日	講 習 会 名	教 室	参加人数
4月26日(火)	無線LAN講習会	424	5人
5月12日(木)	無線LAN講習会	424	9人
5月18日(水)	電子メール講習会	413	12人
5月24日(火)	無線LAN講習会	424	2人
6月3日(金)	電子メール講習会	413	7人
6月6日(月)	無線LAN講習会	413	0人
6月14日(火)	無線LAN講習会	424	0人
6月17日(金)	電子メール講習会	413	2人
7月1日(金)	電子メール講習会	413	3人
7月4日(月)	無線LAN講習会	413	3人
7月26日(火)	無線LAN講習会	413	0人

◆車道校舎

開 講 日	講 習 会 名	教 室	参加人数
4月5日(火)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	802	2人
4月18日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	802	1人
4月21日(木)	電子メール講習会	802	1人
4月25日(月)	電子メール講習会	802	2人
5月9日(月)	レジュメの書き方(Ward入門)	802	2人
5月12日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	802	2人
5月16日(月)	レポート/卒論の書き方(Ward応用)	802	1人
5月19日(木)	電子メール講習会	802	3人
5月26日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	802	1人
5月30日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	802	2人
6月16日(木)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	802	1人
6月20日(月)	電子メール講習会	802	4人
7月4日(月)	電子メール講習会	802	4人
7月11日(月)	一般常識としての表計算実習(Excel入門)	802	1人
7月25日(月)	レポート/卒論の書き方(Ward応用)	802	1人

教員 IT 講習会「効果的なビデオ編集のしかた」報告

開催日時：2005年12月2日(金) 17:00～18:20
場 所：名古屋校舎 情報メディアセンター第3実習室
講 師：フリーカメラマン 松下寛明氏
参加者数：12名
内訳
教員：5名 職員：3名 学生：4名
法 2名
経営：3名



アンケート結果 (回答 10名)

1. 全体を通してどの程度理解できましたか。

- | | |
|-----------------|---|
| a. よく理解できた | 3 |
| b. だいたい理解できた | 3 |
| c. あまり良くわからなかった | 3 |
| d. 全くわからなかった | 0 |

2. 講習時間について、どう思われますか？

- | | |
|-----------|---|
| a. 長い | 3 |
| b. ちょうどよい | 7 |
| c. 短い | 0 |



3. 今回の講習会を受講した感想

- ・今後の参考になった
- ・実習をするようにしてもらいたい。コツがわかったのはよかった。
- ・いろいろと答えていただき、ありがとうございます。
- ・予想と内容が違ったが、楽しめた。
- ・もっと実技的なこと（カメラでとったものを具体的に編集等）してくれたらよかった。
- ・初めてに見せていただいた映像を使って、どこでどういう効果がつかわれているのかとか、このようにすると見ている人にはこんな印象を与えるとか教えて欲しかった。
- ・編集のしかたの話がなかった。思っていたのと違ったので、残念だった。
- ・予算の話は必要ないと思います。
- ・ビデオの編集のやり方を実践的に教えてもらいたかった。
- ・7分の映像を作成するのに、1ヵ月ほどの時間をかけていることに驚いた。
- ・機材とか実技を教えてもらったり、どう編集するか、実際に編集画像を使いながら説明して欲しかった。
- ・編集は大変だと思っていたが、大変なのはいかに根気良く待てるか、そして機材を使えるようになるか、センスが必要なのだと思うとやはり大変そうである。

4. 今後の教員 IT 講習会において、参加してみたい内容

- | | |
|------------------------------|---|
| a. E-Learning コンテンツの作成のしかた | 2 |
| b. 情報倫理—コンピュータウイルス対策とセキュリティー | 2 |
| c. PowerPoint 講習会—上級編 | 4 |
| d. その他 | |
| ・動画編集、実習 | |
| ・編集作業を具体的に講習していただきたい（数回で） | |

愛知大学豊橋情報メディアセンター主催 情報活用コンテスト開催

2005年度、愛知大学豊橋情報メディアセンターでは、情報技術を駆使し、Web ページやWeb プログラミング、CG を競う大会として、情報活用コンテストを開催した。このコンテストの目的は、情報活用ツールを使いこなす技術や、効果的な表現法・アイデア力を互いに競い合うことにより、愛知大学学生の技術の向上を図るものであった。

参加資格

愛知大学の在学学生（学部、短大、大学院生）

部門

(ア) Web ページ

個人や団体の Web ページ（デザイン、内容等）

(イ) Web プログラミング

Web + DB などのプログラムやスクリプトによるシステム（実用度、アイデアなど）

(ウ) コンピュータグラフィックス、フラッシュ等

CG 作品（デザイン、情報技術の活用度、内容など）

受賞者

○総合優勝

「Valentine Flower」鈴木宏和（経済学部4年）

○Web ページ部門 最優秀部門賞

該当者なし

○Web プログラミング部門 最優秀部門賞

「Perl で作る blog みたいな日記 cgi」小澤 優（経営学部3年）

○コンピュータグラフィックス、フラッシュ部門 最優秀部門賞

該当者なし

＜名古屋校舎＞ 第1回プレゼンテーションコンテスト開催

1. コンテスト名称 : プレゼンテーションコンテスト
2. コンテスト概要 : 本コンテストは、Web ページや Web プログラミング、CG などの情報公開ツールを駆使し、プレゼンテーション技術を競う。情報公開ツールを使いこなす技術や、効果的な表現法・アイディア力、および発表能力を互いに競い合うことにより、学生の情報技術向上を図る。
3. 開催日 : 2005年12月22日(木) 13:00～16:40
4. 開催場所 : 車道校舎 コンベンションホール
5. 応募対象者 : 17組(うち12組(表中No.1～12)を書類選考し、開催当日発表を行った)

No.	学籍番号	代表者	学部	共同発表者	発表テーマ
1	04c8192	沈 軍	現代中国学部		中国高速鉄道網
2	03m3113	山崎誠一郎	経営学部	吉田 貴彦 尾崎 史知	ロータリーエンジン ～「MAZDA 孤狼のスピリット」～
3	03j1269	中村 季誉	法学部		動物の権利について考える
4	04c8022	山本 勝巳	現代中国学部	池内 竜馬	中国コマから日中友好
5	02m3371	上瀧 史子	経営学部		Wind Surfing
6	05j1338	高須 悠太	法学部		緑の協力隊「ポプラの森」に参加して
7	02m3039	川井 幸治	経営学部		ブラウザを選択する時代
8	03m3149	飯田 誓悟	経営学部	青木 嘉之 熊澤 徳人 後藤 靖史	A.U.C.C. 愛大祭の出し物について
9	02m3052	土屋ゆかり	経営学部	佐塚 昭彦 鈴木真由美	企業・消費者双方に利益をもたらす環境保護活動
10	05c8066	永谷 明香	現代中国学部	中島 隆	株で社会勉強
11	04c8072	原 美冬	現代中国学部		2005年現地プログラム
12	02m3032	水谷 豪志	経営学部	伊藤 哲二	果物と野菜の常識破り健康法
13	05j1349	尾関 真一	法学部	上田 裕一	アインシュタインの協力がなければ原爆は誕生しなかったのか?
14	04m3039	今枝 豊和	経営学部	志知 由隆	未来の鉄道車両
15	05c8208	徐 文鑫	現代中国学部		玩張る地球
16	05c8105	山田 達雄	現代中国学部		現代福井弁
17	02j1078	西本 恭子	法学部		宇宙で憲法を作るには、どうしたらよ いのか

6. 審 査

● 審査員：8名

(教員)…坂東昌子(名古屋センター長)、土橋 喜(現代中国学部)、岩田員典(経営学部)、谷口正明(非常勤)

(職員)…中村情報企画課長、宮部情報企画課係長、鈴木名古屋情報メディアセンター事務室係長、伊藤車道教学課員

● 審査方法

▶ 一次審査

応募者多数(当初予定10組ほど)のため、急遽、申請書類による書類審査を行い、12組を選出した。

なお、急遽、審査方法が変更となったため、発表を行わなかった5組(応募者一覧No.13～17)に対し、作品を提出させ、書類選考を行った。(名古屋情報メディアセンター特別賞)

▶ 二次審査

12月22日(木)、車道コンベンションホールにてコンテストを開催。審査基準を以下のとおりとし、総計により順位を確定し、受賞者を決定した。

< 審査基準 >

審査項目：5点 (内容、構成力、主張性、IT技術、表現力)

採点基準：各項目5点満点 総計25点

(5点：大変よい、4点：よい、3点：普通、2点：あまりよろしくない、1点：よろしくない、0点：採点対象外)

● 審査結果

賞 名	発表テーマ	受 賞 者			
		学籍番号	代表者	学部学科	共同発表者
最 優 秀 賞	企業・消費者双方に利益をもたらす環境保護活動	02m3052	土屋ゆかり	経営学部	佐塚 昭彦/ 鈴木真由美
優 秀 賞	株で社会勉強	05c8066	永谷 明香	現代中国学部	中島 隆
優 秀 賞	中国コマから日中友好	04c8022	山本 勝巳	現代中国学部	池内 竜馬
審査員特別賞	動物の権利について考える	03j1269	中村 季誉	法 学 部	
佳 作	ブラウザを選択する時代	02m3039	川井 幸治	経営学部	
名古屋情報メディアセンター特別賞	アインシュタインの協力がなければ原爆は誕生しなかったのか?	05j1349	尾関 真一	法 学 部	上田 裕一

● 総 評

<p>中国高速鉄道</p> <p>題色に敵意の余地がある。 日本語を使いこなしていた。 よく調べていた。 鉄道というテーマが最後にずれていた 余分な音声がなかった アニメーション・音声が効果的に使われている 一部文字が読みにくい部分があった 日本・ドイツ・フランスの高速鉄道の状況がよくわかった。 画面に動きがあり飽きずに見れた 画像のチョイスがよい もう少し自分の意見を入れてもよいのでは？ 主張・表現に統一性があるともっとよかったと思う。 音・ビデオ・写真が多くて見てわかりやすい。</p>	<p>企業・消費者双方に利益をもたらす環境保護活動</p> <p>SCMと写真がよい オープニングがよい 主張したいことをもう少しアピールしたほうがよかったと思う。 ビジュアルを駆使した感じでスマートな雰囲気が出ている。 言いたいことがはっきりしている。 発表・内容ともよく訓練されている。 少し淡々としている印象を受けた。 技術・表現力が非常によかった。 テーマが一言してわかりやすい。 スピーチと図表がわかりやすい。 イメージビデオに凝りすぎている。 図表に凝りすぎているプレゼン。 構成が凝りすぎている。 図表・主張は明確だった。</p>	<p>異物と野菜の栄養価の比較</p> <p>聞き手はいい。 異物は高いよ！ 野菜は高いよ！ 着地点はよいと思う。 内容の凝りがよく感じられた。 テーマは面白いし、主張もよかったと思う。 構成が平坦な印象を受けたので、もう少しメリハリがあるとよかった。 スライドのつくりが単純。 文字が小さい部分がある。</p>
---	--	--

<p>ロータリーエンジン ～「MAZDA狼狽のスピリット」～</p> <p>文字が小さく見えにくい部分がある。 ロータリーの動きがわかりやすい。 言葉が取り付きにくい分をもう少しカバーできるとよかった。 もう少し文字を少なくすると主張がはっきりとしてよくなると思いましたが、レスポンスの図も良かった。 ロータリーはわかりやすかった。 ロータリーエンジンと通常のエンジンの違いがわかった。 歴史が細かく調べられているが主張がよくわからなかった。 文字を読ませすぎている。 原稿が細かく調べられているが主張がよくわからなかった。 歴史が多すぎる。 練習不足。 文字が多すぎる。 時間切れ。 ロータリーエンジンの仕組みはわかったが・・・ 車公書車を強調すべきか。 時間配分が悪かった。 よく調べてある。</p>	<p>動物の権利について考える</p> <p>画に入れたフラッシュは読み込めず。 モタモタしていた。 アイデアはよい。 何故？ マイクの使い方が悪い。 被告の名前をあえて出す必要はない。 potとFLASHの2部構成は少し凝りすぎ。 骨組の方法に悪い。 法律面からということでは法学部らしい。 FLASHはおもしろいが、全体の流れの中では唐突。 potとFLASHをうまく組み合わせたい。 全体的にバランスの取れた作りになっている。 最後の主張をもっと強くするとよかった。 FLASHがよかった。 話し方がわかりやすく聞きやすい。</p>	<p>株で社会貢献</p> <p>発表が素晴らしい。 話し方に工夫があつてよかつた。 バランスがよく、2人で進んでいく話し方はおもしろかつた。 雰囲気がよく、テンポよく進んでいった。 聴く人のことをよく考えて作つてある印象を受けた。 説明の方が意義形式でおもしろかつた。 ポイントはよい。 pptが内容としてよくあつていた。 2人の掛け合いはプレゼンとしてはおもしろかつた。 わかりやすかつた！ 構成がうまく観得力がある。 2人の対話もおもしろい。</p>
--	---	--

<p>中国コマから日中友好</p> <p>楽演を入れたのがいい。 potは楽演。 楽演をやつた。 短い。 コマまわしがおもしろい。 主張が強い。 楽演がありよかつた。 構成が非常によい。 動画などで技の説明があるときらによかつた。 もう少しpptの技術が欲しい。 言いたいことはサンプルでわかりやすい。 楽演が効果的。 楽演を入れたプレゼンは珍しい。 楽演がすばらしい。 話し方に工夫があつた。</p>	<p>Wind Surfing</p> <p>説明の仕方が単純 吹き出しの文字が小さい 主張をもっと強くするとよかつた。 シンプルで控えめ。 もう少しインパクトがあるとよい。 波の音などがあつるとよい。 スライドが美しく色遣いのセンスがよい。 動画があるところによい。 ポイントがどこかわからない。 図々とした説明で面白くない。 スライドがきれい。 短い。 声がクリアでよかつた。 内容にふさわしい動画がない。</p>	<p>緑の協賛隊「ホブラの森」に参加して</p> <p>自分の体験をよくまとめている。 短い。 ビデオがメインになっている。 自動で進んでいくように作成されていたのがおもしろかつた。 聞き手もよいが直接話したほうがよいのでは？ もう少し長くてもよいのでは？ 聞き手の説明より自分で話したほうがよいのでは。 手書きの地図・写真がよい。</p>
---	---	--

<p>2005年現地プログラム</p> <p>説明がわかりやすい。 図が細かすぎて見えない部分がある。 主張が強くてもよい。 内容が単純。 紹介としてはよくできている。 現地プログラムの様子がよくわかつた。 もう少し具体的な内容があるときらによい。</p>	<p>ブラウザを選択する時代</p> <p>説明の仕方がわかりやすい。 高い技術性が伺える。 もう少し自信を持ってプレゼンして欲しい。 高いスキルを持っている。 面白くない。 専門用語が多いため一般の人にはわからないかも。 主張が弱い。 説得力が弱い。 色遣いがよい。 専門的な言葉が多かつた。 構成がよくー真性がある。 練習をするともっとよくなると思つた。</p>	<p>AICC 警犬祭の出し物について</p> <p>サークルの紹介になっており何を強調したいのかわからない。 内容はおもしろかつたが、時間内に終わらなかつたのは残念。 フラッシュをうまく使つていた。 内容が濃い。 技術力はあるが発表能力が低い。 聴衆者以外が立っているだけ。 けだるい感じがした。</p>
--	---	---

3. 情報メディアセンター運営会議構成員

情報メディアセンター運営委員（2006年3月1日現在）

役職名		所属	身分	氏名
所長		短期大学部	助教授	龍 昌治
副所長		法学部	教授	坂東 昌子
委員	豊橋センター 運営委員	文学部	教授	浅野 俊夫
		経済学部	教授	蔣 湧
		経済学部	助教授	湯川 治敏
	名古屋センター 運営委員	経営学部	講師	岩田 員典
		法学部	教授	太田 明
		現代中国学部	教授	土橋 喜

情報メディアセンター事務室

情報企画課	課長	中村 直美
	係長	宮部 浩之
	S E	秦 俊一郎
		小野 秀之
豊橋情報メディアセンター	係長	三浦 文博
	S E	石原有希子
名古屋情報メディアセンター	係長	鈴木 真弓

自己紹介

豊橋情報メディアセンター
三浦 文博

この度、2005年4月1日付で豊橋情報メディアセンターに配属になりました三浦文博と申します。15年ほど前に某国立大学繊維学部精密素材工学科を卒業し、その後5年間ほど某電機メーカーにて学術情報系のシステムインテグレータをしておりました。その後縁あって愛知大学にお世話になることになり、最初の配属は豊橋図書館となりました。当時ちょうど図書館システムの入れ替えの時期であったためそのシステム構築にかかわりました。その後も約9年間図書館にて洋書の整理係とレファレンス係を務め、現在稼働中の図書館システムの構築にもかかわってきました。

今回、10年ほど情報の現場を離れて戻ってみると、いつの間にか知らない技術がたくさんできていることに驚きを禁じ得ません。特にネットワークの技術はこの数年で大きく変わっていて、高速な無線LANや自宅へ光ファイバーが敷設されるなど、昔ではとても考えられないことが実現されつつあります。

その一方コンピュータウイルスや不正アクセス、フィッシング詐欺など情報技術を悪用した犯罪も高度化し、セキュリティに対しては一時も気の抜けない状況であることも、情報システムを管理する側の立場となって忘れてはいけないことと思います。

本当に情報技術の進歩は速く、ついてゆくのもおぼつかない私ですが、学生や教員の皆さんのお役に立てるよう、微力ではありますが努力していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

4. 愛知大学におけるコンピュータウィルスの動向及び対策について(4)

～トロイの木馬編～

1. はじめに

前回のコムにおいて、ワームを取り上げ、その特徴や対策について述べました。今回はトロイの木馬型ウィルスを取り上げ、その特徴・動向・対策について述べたいと思います。

2. トロイの木馬型ウィルスとは

トロイの木馬型ウィルスとは、一見正当なプログラムに見せかけてパソコンに入り込み、実際は悪質な機能を持つウィルスのことで、古代ギリシア時代の故事になぞらえて名付けられています。トロイの木馬型ウィルス自体は、自分自身の力で繁殖活動を行わないことで、ワームとの定義分けがされていますが、近年では「トロイの木馬型ワーム」といったハイブリッド型が多数出現しており、明確に分けることが難しくなっています。また、パスワード等の個人情報を盗む目的のものもあり、「スパイウェア」として分類される場合もあります。

3. 種類と特徴

(1) バックドア型

感染すると、そのパソコンへのリモートアクセスを可能とする「バックドア（裏口）」を作ります。バックドアからハッカーによって侵入され、パスワード等個人情報の漏洩やパソコンシステム破壊・外部への踏み台とすることなどが可能となります。

(2) パスワード盗用型

感染すると、キーロガーなどの技術を用いてログイン情報やパスワードを採取し、悪意のある外部コンピュータ等へ送信します。インターネット銀行口座へのログイン情報をターゲットにしたものも出現しています。

(3) その他

システム破壊を目的としたものや、特定の公開ホストへの Dos/DDos 攻撃を目的としたものなどがあります。

4. 感染経路

大きく分けて、「電子メール添付型」と「Web ページ経由型」があります。前者は、正常を装った添付ファイルが悪質なものである場合で、ワームとの組み合わせによって、感染力を高めています。

後者は、Web ページにアクセスし、一見正常に見える公開ファイルやフリーソフト等をダウンロードし実行することで感染したり、利用許諾などのダイアログボックスを装って「Yes」ボタンを押させることによって不正プログラムのインストールが始まるものなど、多種多様なタイプが出現してい

ます。最近では、人気 Web ページへの不正侵入・改ざんによりトロイの木馬型ウィルスが埋め込まれ、それを閲覧したユーザーに対して感染させる、といった大きな被害を与える事件が多発しています。

5. 本学での対策、ユーザーが取るべき対策について

本学では、インターネットと学内 LAN の間にメールウィルスチェックサーバーを設置しているため、電子メール添付型についてはある程度の対策をとっていますが、新種のウィルスには対応できないなど、完全な対策とは言えません。また、Web ページ経由型については組織的な対策を取ることは困難な状況です。

したがって、トロイの木馬型ウィルスによる被害にあわないためには、パソコンユーザーによる下記のような対策が必要といえます。

- ウィルス対策ソフトを導入し、常に更新する。
- OS のセキュリティ修正パッチを常に更新する。
- 送信元の不明なメールに添付されたファイルを開かない。
- ファイルダウンロードやプログラムインストール時には、ウィルスチェックを行い、安易にインストールを行わない。
- Web ページ閲覧時など、よくわからないダイアログボックスで安易に「Yes」などを押さない。

また、自身でサーバーを構築し、公開 Web ページなどを運営している場合は、不正アクセスにあい不正プログラムを埋め込まれ、管理者が意識せずとも被害者から加害者となってしまう可能性があります。Web ページ運営などにおいては、特にセキュリティに対する十分な配慮が必要です。

参考

- IPA（情報処理推進機構） <http://www.ipa.go.jp/index.html>
- シマンテック社 <http://www.symantec.com/region/jp/>
- マカフィー社 <http://www.nai.com/japan/security/>
- トレンドマイクロ社 <http://www.trendmicro.co.jp/>

（情報企画課 小野秀之）

5. 編集後記

今号の紀要には授業評価アンケートに関する3篇の論文が記載されました。これらの論文に記載された内容は、愛知大学の学内プロジェクトとして実施されたものです。学内では2004年度まで、紙のマークシートによる回答で授業評価アンケートが行われてきたことはご存知のとおりです。これをWebから回答を集めて自動的に集計できるようにシステム化し、実際の業務で使用することを目的に、学内でシステム開発が行われました。今回記載された論文はその成果をまとめたものです。

論文の中でも指摘されているように、運用管理などいくつかの側面で課題が残されていることが明らかになっていますが、学内プロジェクトとしてこのような取り組みが行われたことは大変意義のあることといえます。

従来の手作業による仕事をシステム化すれば、処理の効率化や経費削減につながりそうな仕事がまだまだあるのではないのでしょうか。学内に多くのプロジェクトを立ち上げ、共同研究で成果を上げるという取り組みが重要になっているといえます。

最近では研究成果を社会に還元することが、大学に求められる社会的な使命として重要になっています。今回の共同研究の成果も学内利用に留まるのではなく、少しでも社会で利用されるようになるまで発展させていただきたいと思います。研究分野を問わず学内の研究成果は、本学の紀要などを通してより広く一般に公開し、社会に貢献することが期待されます。

(K.D)

愛知大学情報メディアセンター紀要 COM [コム]

Vol.16 No.2 第29号

2006年3月30日 印刷

2006年3月30日 発行

編集 愛知大学情報メディアセンター

「COM」編集委員会

発行 愛知大学情報メディアセンター

(名古屋) 愛知県西加茂郡三好町黒笹370

〒470-0296 TEL (0561) 36-1117 (直通)

FAX (0561) 36-2781

(豊橋) 豊橋市町畑町1-1

〒441-8522 TEL (0532) 47-4124 (直通)

FAX (0532) 47-4125

(車道) 名古屋市東区筒井2丁目10-31

〒461-8461 TEL (052) 937-8120 (情報企画課直通)

FAX (052) 937-8121

印刷 株式会社 クイックス

情報メディアセンター教育用パソコン 機種および設置台数

○車道校舎

(台)

設置場所	機種	台数
メディアゾーン	HITACHI FLORA 310	74
K 7 0 1	TOSHIBA Satellite J11	35
K 8 0 2	TOSHIBA Satellite J11	35
K 8 0 4	TOSHIBA Satellite J11	50
車道 計		194

○豊橋校舎

設置場所	機種	台数	
情報メディアセンター (4号館)	420 教室	HITACHI FLORA 310W	78
	421 教室	HITACHI FLORA 330W	52
	423 教室	HITACHI FLORA 330W	58
	424 教室	Toshiba dynabook SatelliteJ11	50
	413 教室	HITACHI FLORA 350W	25
5号館	514 教室	Toshiba dynabook SatelliteJ11	25
	523 教室	HITACHI FLORA 330W	50
大学院	HITACHI FLORA 330W	4	
研究所	HITACHI FLORA 330W	9	
豊橋 計		351	

○名古屋校舎

設置場所	機種	台数	
情報メディアセンター (4号館)	第一実習室	HITACHI FLORA 330W	60
	第二実習室	HITACHI FLORA 310W	45
	第三実習室	HITACHI FLORA 350W	20
	オープンフロア	HITACHI FLORA 330W	19
中央教室棟	マルチメディア教室	HITACHI FLORA 310W	60
東教室棟	E210 教室	HITACHI FLORA 330W	60
	E220 教室	HITACHI FLORA 330W	40
大学院	HITACHI FLORA 330W 他	10	
研究所	HITACHI FLORA 330W	13	
名古屋 計		327	

マルチメディアコーナー・メディアゾーン

○豊橋校舎

(台)

設置場所	機種	台数	
図書館棟 1F	メディアゾーン	HITACHI FLORA 350W 他	30
計		30	

○名古屋校舎

設置場所	機種	台数	
図書館棟 2F	メディアゾーン	optiplex GX520/DELL 他	75
計		75	